



なっちゃんは、おくの
の しょうがくせい。



あるひのこと。なっちゃん
は、おかあさんと
ほーむせんたーにいつ
て、ちゅうりっぷのきゅ
うこんをかってきた。

「これをうえれば、はな
が、さくわ」
と おかあさん、にっこ
り。

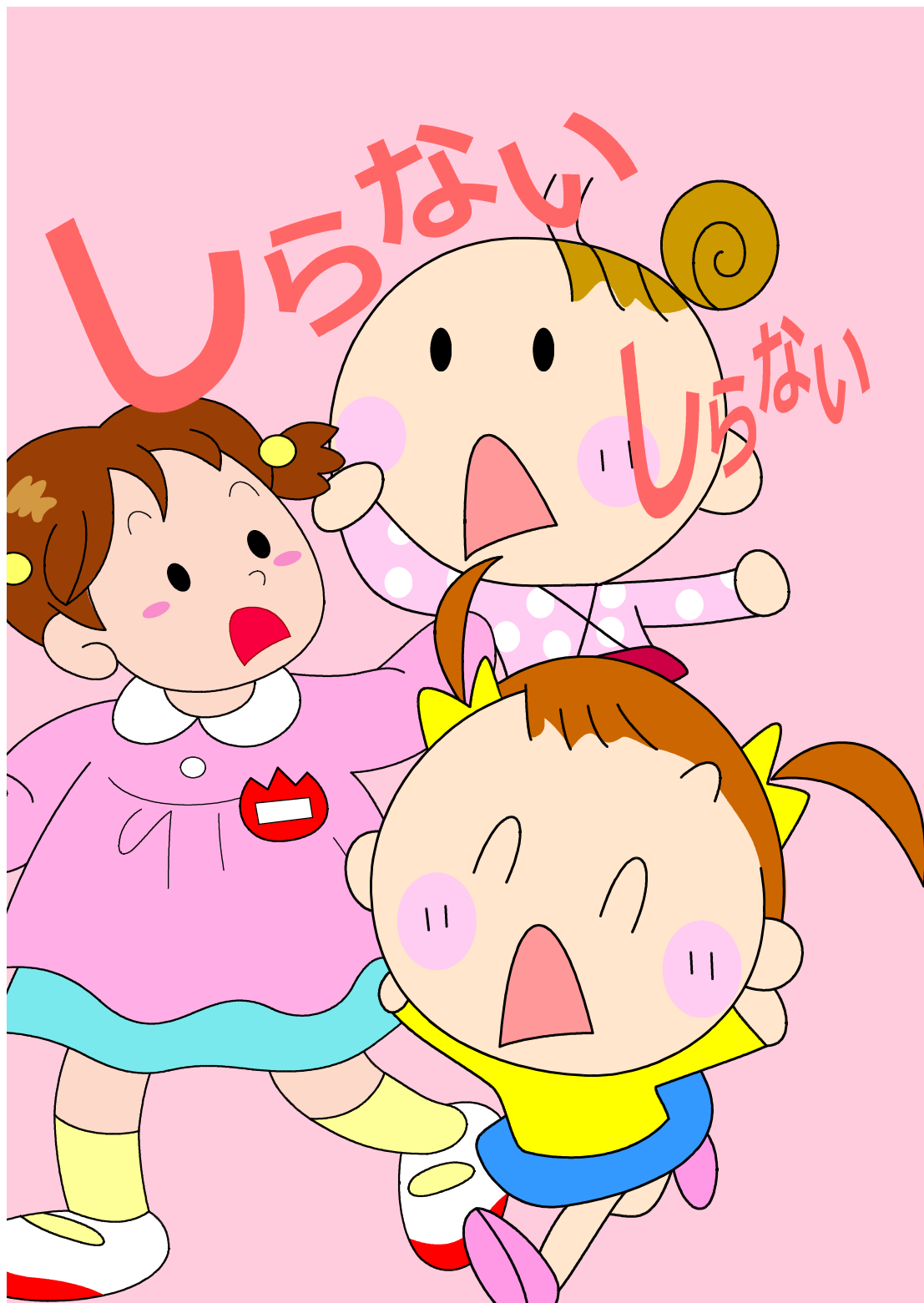
なっちゃん、ふしぎに
おもった。

「どうして、たねじゃな
くて、きゅうこんをうえ
るの？」

「たしかに、ちゅうりっ
ぷのたねって、みたこと
ないわね」

「たねあるのかな？」

がっこうで、おともだちに
きいてみた。



こまったなっちゃん
は、ものをよくしってる
おじいちゃんにきいて
みた。すると



「たねは、もちろんあ
るよ。これだ。」



でも、はなが
さくまで、や
く5ねんかかるんだよ」

「え、5ねん?! そ
ういえば、やまゆりも
きゅうこんだったわ。
やまゆりにも たねが
あるのかしら？」

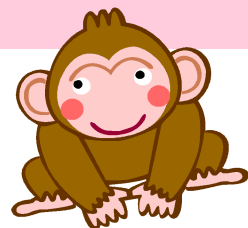
「ん～わからないね。
あ、そうそういそやまさん
が、やまゆりにくわしいよ。
きいてみようか」



よーし
きめた！



あれあれ？　これはたのしそうと
なぜなぜくん。ついていったよ。



さっそく、おともだち
と　さんにんで、しらべ
ることにした。

おじいちゃんに　れん
らくしてもらって、いそ
やまさんに　やまゆりの
さとで、あうことになっ
た。

そして、そのひ・・・。

「こんにちは」
やまゆりのさとで、いそ
やまさんにあった。

はなしをきいて、

びっくり!



やっぱりたねが、ある
んだって。

それが、これ
なんだ。



「これがあのやまゆりになるんだ。びっくり！」

種から開花まで5年



じつはね。やまゆりは、
たねをまいてから さく
まで、やく5ねんかかる
んだよ。びっくり！

そんなに かかるの!



しかも、さいしょのと
し、600つぶのたねを
まいて、5ねんごに さ
いたのは、たった10ぽ
んだけ。

またまた



びっくり!

それだけじゃないんだ。**ちいさいきゅうこん**のまわりのつちのおんどを 20 どいかにしなくちゃ **きゅうこん**が、おおきくならないんだ。

びっくり!

「そうか！それは、たいへんだ。だから、**たね**からではなく、**きゅうこん**で、そだてるんだ」

そのとおり



じゃあ、やまゆりのさ
とにいてみよう。



あたりをさがすと、は
なが、**いちりん**さいてい
た。1ばんかだ。

それは、やまゆりのさとのおく、しろいかんぼんちかくにさいて
いた。かんぼんには4ねんせいがうえた」とかいてあった。



あ！そうか。4ねんせ
いがうえたやまゆりだ！

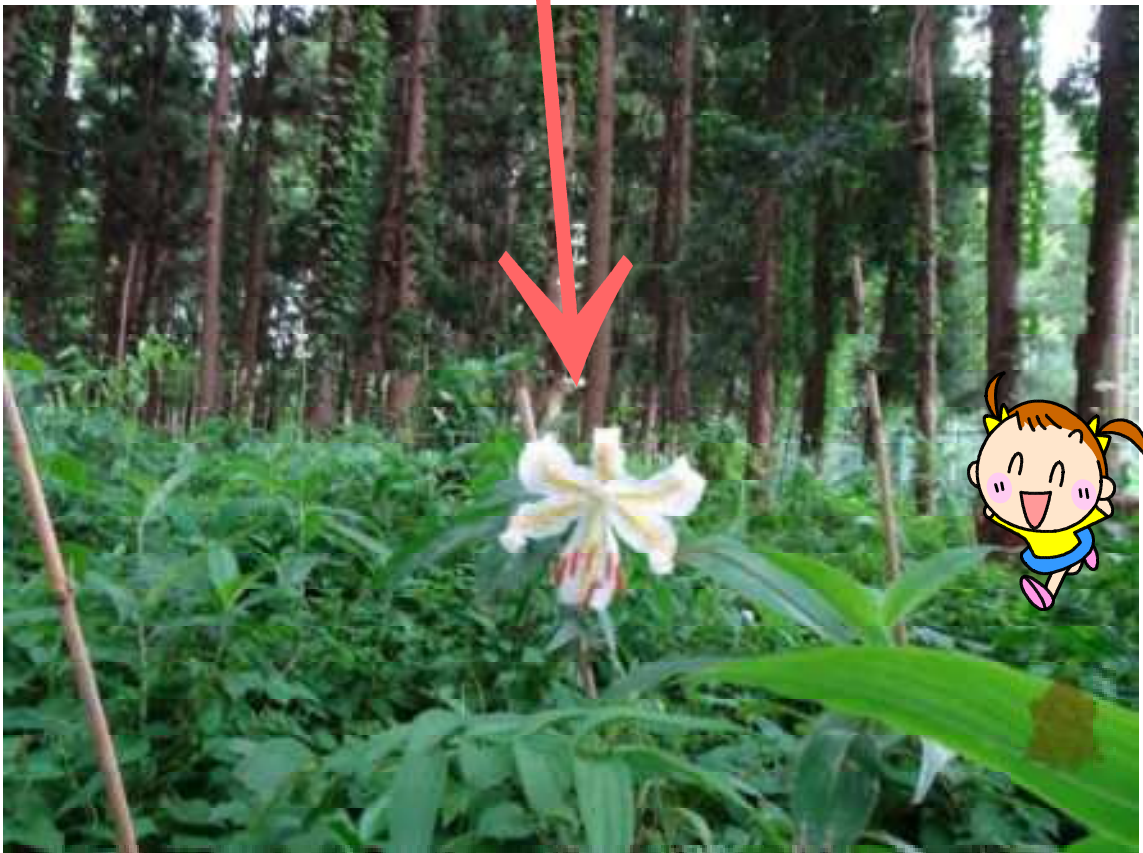
2ばんめにさいたのは、
このやまゆり・・・。

やまゆりのさとのほぼまんかにさいていた。



3 ばんめにさいたの
は、このやまゆり・・・。

やまゆりのさとのまんなかより みぎがわにさいていた。



そして、たくさん た
くさん さきはじまっ
た。すると・・・

あれあれ、ぎむきょう
いくがっこうのこどもた
ちが、たぶれっとかたて
に けんがくにきたよ。
「わー、きれい！」
まず、はなしをきいて



さあ、**たぶれっ**とをも
って、やまゆりのかんさ
つだ。



あれあれ、きょうは、
おきやくさまが・・・。
しちょうさんだ。

令和5年7月 撮影



びっくり!

このころのやまゆりのしやしんだ。







あれあれこんどは、うしく
しないのこんなひとたちも・
・・。

せつめいしているのは、
いそやまさんだ。



さくらかいかいちょうが、さんぽし
ているひととかたりあっているよ。

「あ！こんなところにもおにゆりが」

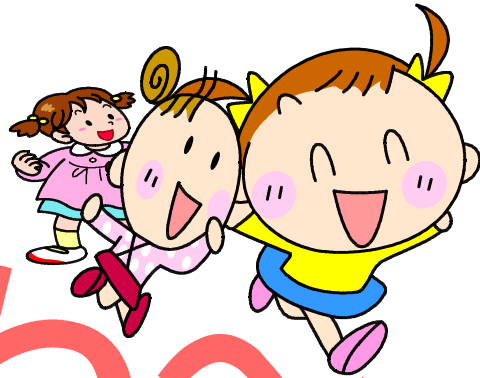
「すごーく、きれ
いにさきましたね」

「ありがとうございます。
やっど、
ここまできました」



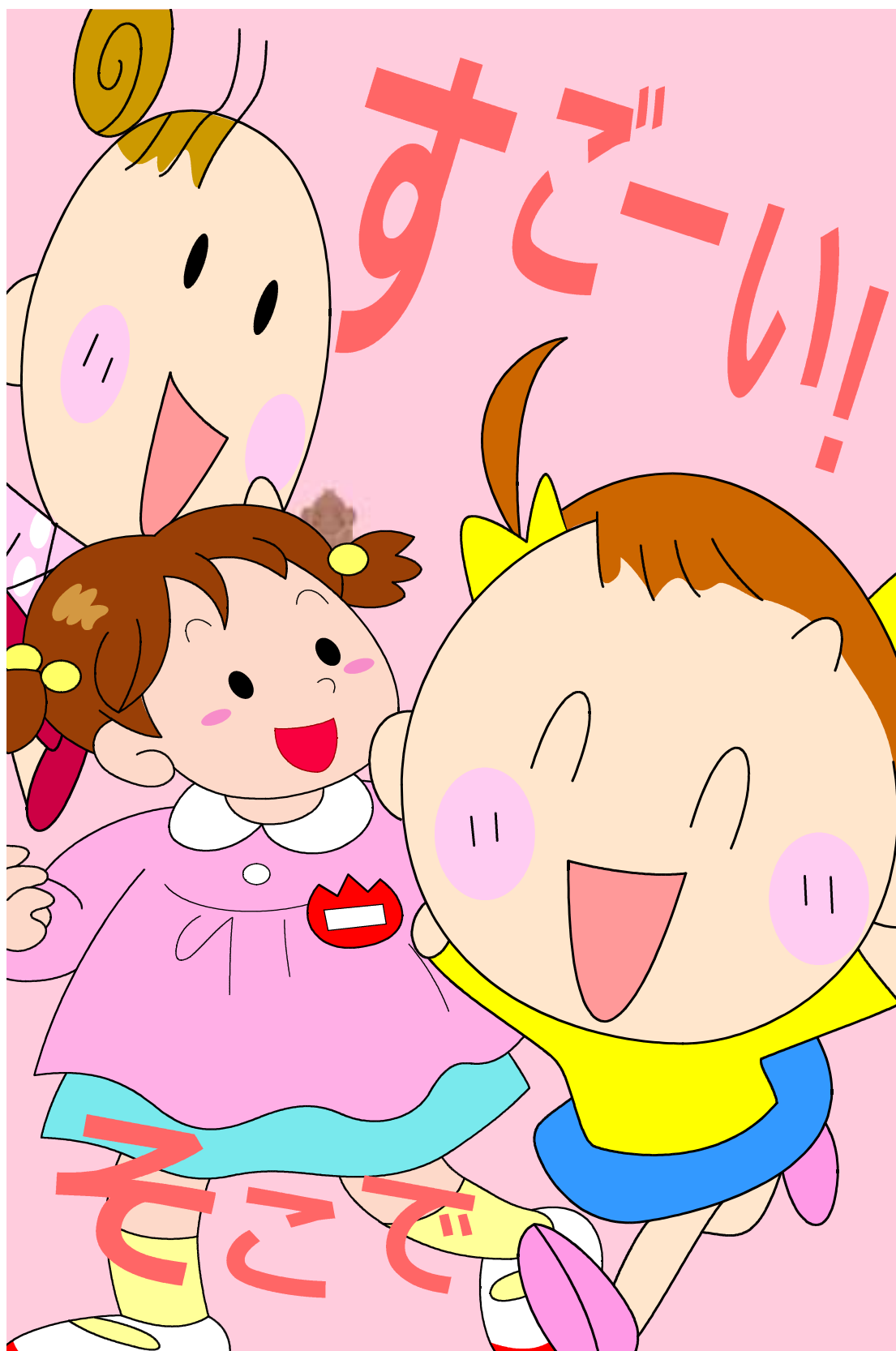
そこに、なっちゃんた
ちが、やってきた。

さきほこっているやま
ゆりをみて



うわ～

きれい！



なっちゃんは、さくら
いかいちょうと いそや
まさんのゆめをきいてみ
た。2つあるという。

1つめは、

ここで、さいたはなか
らたねをとって、おくの
のあちこちに きれいな
はなをさかせたい。

2つめは、

こどもたちや ちいき
のひとたちと、たすけあ
って、はなづくりをした
い。

「なるほど・・・」

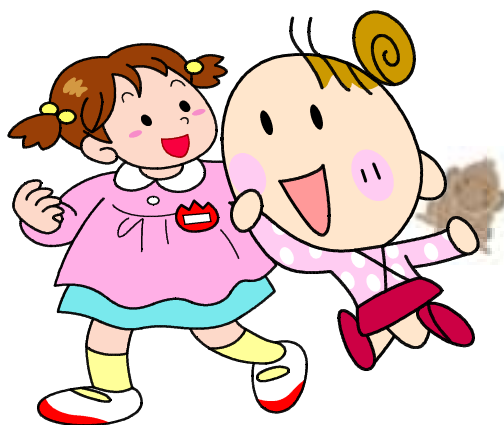




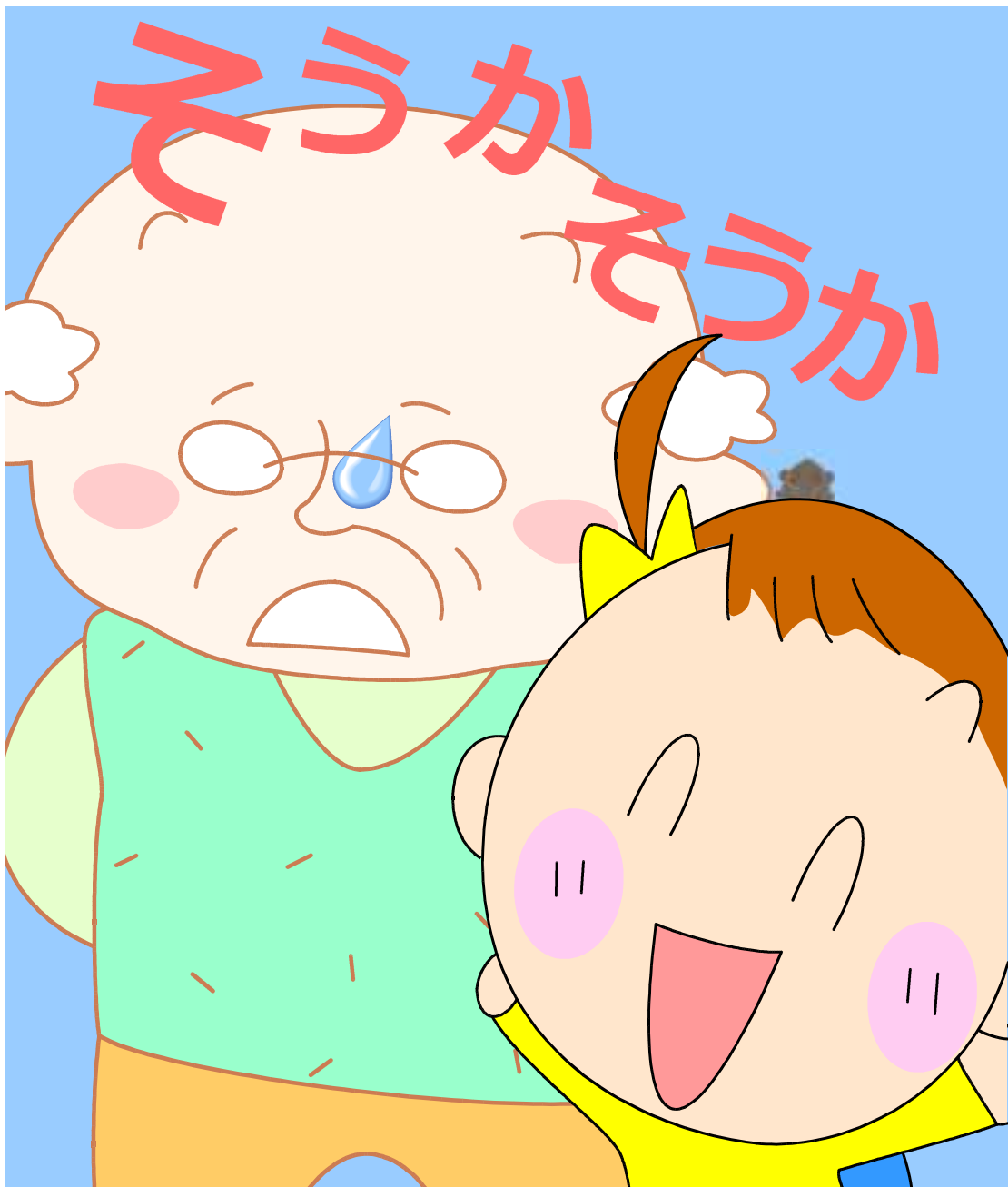
なっちゃんは、おもった。

「みんなで、やまゆりを
そだて、おくののたから
ものにしたいな」

と　りりちゃんと　もも
ちゃんも　そうおもっ
た。



なっちゃん、いそいで
かえって、おじいちゃん
に そのことを はなし
たよ。すると・・・



「よく、しらべたね」

えらい
えらい

と めになみだをうか
べて、よろこんでくれた。

そして、そのよる、し
ずかにかたってくれた。

①やまゆりはね、にほんげ
んさん（日本原産）で「ゆりのお
おさま」といわれているん
だ。

びっくり！

でも、いまどんどんへっ
ているんだよ！ 

そこで、まもったり、あたらしく うえたりしているんだ。

「そうか、やまゆりのさとも、こうしたききかんからうまれたんだ」

そうか！
そうだったのか

すごい！



②やまゆりが、どうしてあいされているかわかるかい？



「ん～、わからないわ」

それはね。しろくめだつはなと かおりのゆたかさが、あるからなんだよ。

「え～、なーるほど」



③こんなうたもあるんだよ

むかしむかし。1200 ねんいじょうまえ、このちいきしゅっしんのさきもり（きゅうしゅうのまもり）がよんだうた。

「つくばねの さゆる
（やまゆり）のはなの ゆど
こ（よるのここ）にもかな（愛）し
しけいも（妹）そ ひる
もかな（愛）しけ」



（ふるさとにのこしたつまをおもってつくったうただ。いみは「つまをやまゆりにたとえ、よるもひるも、やまゆりが、こいしくてしかたがない」といういみだ）

なっちゃん、こえをだ
して よんでみた。

すると、やまゆりのさ
とにきたひとの

せすじがすーっとのびた
びゅっくり！

つぎのひから

「きれいなやまゆりをみたい」
というひとが、たくさんおとづ
れるようになった。

そして、おとづれたひとは、
えがおいっぱい、しあわせいっ
ぱいに なってかえっていった。

めでたしめでたし。



「やっぱり、やまゆりのさとは、
おくののたからものだったんだ
ね。

「さて、こんどは、なにをしら
べようかな？」
と なっちゃん。

びっくり！
しらべるき
まんまん



あれあれ？「すごーく、たのし
かった」と なぜなぜくん。つ
ぎのひみつをもとめて、すきっ
ぷしながら かえっていった。



またね